

(公財)全国高体連バレーボール専門部 部長 田野 敏彦
同 強化指導普及委員長 本多 洋

(公財) 全国高体連バレーボール専門部強化事業について (通知)

強化事業の目的：次の5つのステップを1サイクルとし、継続的に長身選手・優秀選手の発掘・育成に努め、将来日本を代表する選手を輩出することを目的とする。

ステップ0 長身選手調査：各都道府県からの報告段階で長身選手の推薦漏れがないように徹底する。
※男子：185cm、女子：175cm以上、セッターは男子：180cm、女子：170cm以上とする。

ステップ1 全国高校選抜候補第一次合宿 高校長身選手発掘育成合宿（全国9ブロック）：8・9月

- 各都道府県から1,2年生で長身選手3名（この段階では中型優秀選手は除く）を推薦する。
推薦に当たっては、その段階でのプレーの完成度は求めず長身選手を優先する。
- ※身長基準はステップ0と同様、最高到達点男子：325cm以上、女子：290cm以上とするが長身者発掘の趣旨を尊重し身長を第一とする。
- 本合宿では長身選手を発掘することが最大の目的でありゲームをするための合宿ではないので、基本練習中心でも構わない。
- JVAより各ブロックに1名の派遣指導員に参加頂き、栄養講習、トレーニング理論、講話なども必要に応じて行う。
- ブロック合宿指導者（全国高体連強化委員、各県専門委員長、JVA派遣指導者）により、推薦選手の順位付け(6位まで)を行う。ステップ2ではゲームを行うが、あくまでも長身選手の発掘・推薦に重きを置く。（その段階でのプレーの完成度は求めない。）
- ステップ2への推薦数（合計24名、国体へのブロックからの参加数を基準。但し北海道は+1。）

北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
2	3	4	2	2	3	2	2	4

ステップ2 全国高校選抜候補第二次合宿 全日本ジュニアオールスタードリームマッチ：2月

- 以下の枠より男女それぞれ48名の選手を選考し、4チーム（男女それぞれ中学生4名を含む）に分け2日間に渡りリーグ戦を行う。
- ①ブロック合宿（ステップ1）推薦枠
- ②特別推薦枠
全日本ユース・ジュニア選手、ブロック合宿参加選手で特に有望な長身選手（推薦枠以外）等を推薦。
- ③選手権大会推薦枠
全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)より推薦。

ステップ3 全国高校選抜候補第三次合宿 全国高校バレーボール男女選抜強化合宿：3月末

- ステップ4の海外遠征に向けた最終合宿。ドリームマッチ（ステップ2）出場選手から24名を選考し、4泊5日で合宿を行う。
- 必要に応じて大学生、企業チーム等との練習試合も行う。
- トレーニング講習を実施する。

ステップ4 全国高校バレーボール男女選抜海外遠征：8月

- ステップ3より選考された選手12名が全国高校総体終了後、数日の合宿を行い海外に遠征し強化試合を行う。
- 遠征先のユニバ代表、国内ユースチャンピオンチームなどと4～5試合を実施する。